

1. 件 名 : 「リサイクル燃料貯蔵株式会社による使用済燃料貯蔵施設の事業
変更許可申請に係るヒアリング（7）」
2. 日 時 : 令和5年11月13日（月）15時00分～16時30分
3. 場 所 : 原子力規制庁 9階会議室（TV会議により実施）
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
核燃料施設審査部門
松本調査官、田中管理官補佐、伊藤安全審査専門職、田口技術参与
リサイクル燃料貯蔵株式会社
キャスク設計製造部長 他17名
5. 自動文字起こし結果 : 別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こしによるものであり、誤りを含む場
合があります。
6. その他
なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	規制庁の田仲です。11月13日、Raです。事業変更許可に関わるヒアリングを開催いたします。
0:00:08	まず出席者の確認、会長がある施設をお願いいたします。
0:00:14	はい。RFSむつ本社です。むつ本社からですね技術安全部長篠田。
0:00:20	貯蔵保全部長タカハシ脚設計製造部長、大木大浦その他、斜め系10名の参加です。以上です。
0:00:31	規制庁田仲です。続きまして
0:00:33	アリタ東京事務所をお願いいたします。
0:00:37	はい、RFS東京事務所です。
0:00:40	白井東京事務所長、サエグサ、主任者、以下、6名です。以上です。
0:00:53	規制庁田中ですが、武藤ホアシは10名、東京6面計16名でよろしいでしょうか。
0:01:00	すいません。
0:01:03	東京事務所、計8名ですごめんなさい。すいませんでした。
0:01:09	議長。いや、計18名ということで、承知いたしました。
0:01:13	規制庁側は
0:01:16	マツモトタグチイトウタナカの容疑でございます。
0:01:22	衛藤さん。
0:01:23	それでは本日のヒアリングですけれども、先ほど行いました審査会合でのラップアップと、あと、まだ計上側からお伝えしていない、
0:01:35	申請書等に対するコメントがございますのでそちらについての伝達をしたいというのと、
0:01:41	あとは今後の補正に関わるスケジュール的なものですね
0:01:47	コメント回答資料等も含めた、そういうスケジュールの確認を行わせていただければと考えております。
0:01:53	こんなやり方でよろしいでしょうか。
0:01:56	はい、RFSむつ本社ですよろしくお願い致します。
0:02:03	慶長タナカです。それでは、介護のラップアップとして、
0:02:09	RFSの方から何か確認した事項があればお願いいたします。
0:02:16	RFSむつ本社の木浦でございます。特に今回の会合については、確認することはなかったかと思えます。以上です。
0:02:32	規制庁タオカです。
0:02:34	そうです。なかなか事前になんかラップアップ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:37	実施したいというふうに申し出があったと聞いたんですけど、特段はないということによろしいですね。
0:02:46	マツオ本社のキヨウラでございます。そうですね審査会合のといえますか審査会合で申請書の
0:02:55	案を記載させていただきましたが次、この審査会合の資料に載ってない部分で、
0:03:05	補正書の何ていうんでしょうか
0:03:10	開きぶりについて、もしご相談に乗っていただけるような部分があればそれは後程ご相談に乗っていただければと思っておりました。はい。以上です。
0:03:24	規制庁の田仲です。そういうところで今までに何回かヒアリングを行ってまますけれどもその際にこちらからコメント等をお伝えして、
0:03:35	このような形で補正をする方針ですと。
0:03:38	というようなお答えいただいたものについて、確認をしないと、そういう意図でしょうか。
0:03:45	はい。物本先浦でございますそのような意図でございます。
0:03:54	規制庁の田仲です。いやそれであれば
0:03:57	順番はいつでもカワセンでそちらの方から随時、
0:04:03	設定をしていただければと思いますのでよろしく申し上げます。
0:04:10	三つ本社キヨウラでございます。承知いたしました。そうしましたらですねちょっと画面共有させていただきまして、まずちょっとご説明したい内容がございます。
0:04:24	はい、RFSむつの植野でございます。
0:04:28	遮へい関係のところですね、衛藤。
0:04:33	まず 2 ページ目の方に、
0:04:40	すいません、3 ページ目 4 ページ目ですね、以前のヒアリングのコメント等ですね、適合性説明資料 2、この
0:04:51	絵とコンクリートの、
0:04:54	γ 線と中性子線の実効線量率、減衰比のグラフ、適合性説明資料に載って、
0:05:02	いたものを、申請書の添付資料の方へ、の反映というコメントをいただいております。
0:05:10	それに対する変更案ということでございます。
0:05:15	少し 2 ページ目の方に戻ってください。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:21	ちょっと今入れ込む場所として考えてございますのが、添付資料 6 のですね、
0:05:33	東大、
0:05:35	伊井宇津木。
0:05:38	資料 6 の第 6-7-4 ページあたりになるんですけども、この 7.1. 2 の設計方針っていうところの中の(5)、
0:05:50	遮へい設計に用いる線源強度、こちらの表の右側の赤字の部分ですね。
0:05:57	こちらのところに包絡スペクトル及び金属キャスクの設計スペクトルの
0:06:03	コンクリート中の γ 線の実効線量率、減衰比を、
0:06:08	第 7.1a-ニイツ(1)コンクリート中の中性子線の実効線量率減衰比を、第 7.1-人数(2)に示すということで、
0:06:21	先ほどご覧いただいた、
0:06:26	ガンマ線と、その次が中性子線の
0:06:31	グラフの方、図の方へ載せたいと考えております。まず 1 点目は、以上でございます。
0:06:43	規制庁タマウチ少々お待ちください。
0:08:03	規制庁田口ですけど。
0:08:05	刊本欄を見ても 7.1. 2 というのは放射線防護設備数ですし、
0:08:12	ちょっとどこを見ればいいのか、何を今見ているのか教えていただきます。
0:08:29	RFSむつの植野でございます。
0:08:34	申請者の観光 2 番で申し上げますと、
0:08:41	一番下のページで、
0:08:47	6-7-4 ページっていうのが、
0:08:58	はい。
0:08:59	僕の中に、7-4 ページというのがございますが、
0:09:04	ここ、これ通じますでしょうか。うん。やっぱり放射線労働設備ですね。はい。
0:09:20	その他、
0:09:33	連絡着席うまく進ん入らないか。
0:10:09	規制庁の田仲です。ちょっとこちらも所見で、即答できないところ、今のご説明はこちらも、
0:10:17	理解しましたんでちょっとここで十分かどうかについては、改めて、
0:10:25	はい。で、
0:10:28	先ほどの図を入れるだけだと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:31	多分、うまく繋がらないと思うんで、この図を入れて、どのような文章を入れるのかっていうところまで、
0:10:39	教えていただけますか。
0:10:48	RFSむつの植野でございます。
0:10:52	現状は、この図、図を入れ込むために、今画面で示しております赤字の
0:11:03	ところでですね、
0:11:09	アカシの文章で説明しているっていうような状況です。
0:11:21	規制庁の田口です。赤字の部分を、
0:11:26	入れ込んでさらにずっと、
0:11:33	これは今のところ建屋の線量評価の
0:11:39	だということで、理解しました。
0:11:42	はい。
0:11:52	規制庁松本です。すいません6分的な話なんですけれども、入口部分はここしかないのかなと思い、
0:12:02	もう、例えばいきなり包絡スペクトルなんていう表現が出てきててですね多分。
0:12:08	添付、現状の添付ってどこにもこの表現って出てこなかったりするんで、
0:12:14	補正補正っていいですか補足説明資料というんですか適合性確認の資料、そこまで細かく書く必要はないと思うんですけれども、
0:12:24	用語を何かちゃんと使うのであれば、きちっと定義なりして、ここだけでわかるようにしてもらえると助かりますいかがですか。
0:12:41	RFSむつの植野でございます。ちょっと今包絡スペクトルという用語なんですけれども、
0:12:51	添付書類の中でもですね、
0:12:55	使ってる場所が、
0:12:57	だったのではないかなというふうに、
0:13:04	PL伺います。はい。
0:13:06	日本、
0:13:08	後お待ちください。ちょっと包絡スペクトルという要望ですねちょっと使ってた可能性がございまして、
0:13:19	規制庁、田口ですけどそういうゴトウではなくてですね、添付資料ですから、
0:13:28	こういうふうになります。
0:13:31	だけど、板井のあれなんですよ。
0:13:34	これは

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:36	コンクリート中で一番そのトップでない。
0:13:42	ものを包括していくという、
0:13:45	ことで、
0:13:46	今回の
0:13:49	ちょっと高線量の掲の
0:13:52	キャスクというのが、
0:13:54	その中に収まるよつていうのを言ったり、ために、添付に入れる。
0:14:00	なので色学校、
0:14:03	やっぱりわからないと。
0:14:05	ちょっとこう突っ込んだだけで、
0:14:08	理解しづらいしづらいという感じがしますね。
0:14:12	何かその辺で、
0:14:16	ものが考えられないかなと。
0:14:21	RFS物の植野です。申し訳ございません包絡スペクトル。
0:14:27	の用語自体が、
0:14:30	申請書にいろんなない可能性がございますので、ちょっとそこも含めまして、少しわかりやすい文章ですね。
0:14:38	イズミイトウそちらの方、
0:14:42	一応入れ込みたいと思います。
0:14:45	申し訳ございません。以上です。
0:14:48	多分規制庁タグチですけど、
0:14:52	既許可の通りということだと思っんです。
0:14:55	そうすると、キクカワの包絡スペクトルの設定はこうこうこういうこと。
0:15:01	ですと、
0:15:04	金属キャスク。
0:15:07	ついては、
0:15:13	別添の通り、それに包含されると。
0:15:17	そのあと、
0:15:18	包含される。
0:15:21	という。
0:15:22	ことは、これだけの文章、
0:15:26	わかるのかどうかですね。
0:15:30	ちょっとその辺がコウ。
0:15:33	上手く、
0:15:34	うん。示すだけで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:37	示して、何々であるという結論まで、
0:15:43	ないと。
0:15:45	その保守性があるかどうか。
0:15:48	既許可で全部、
0:15:53	計算を再度しなくても、
0:15:56	客観的に大丈夫っていうような、
0:15:59	ことが、
0:16:00	これだけでわかるかっていうところ。
0:16:10	RFSむつの植野でございます。
0:16:14	かしこまりました土肥。
0:16:18	いただいたコメントも踏まえまして、
0:16:22	はい次、文章の方、
0:16:27	直したいと思います。
0:16:30	はい。規制庁の田内です。設定の時に保守性を相当見込んでるっていうところが、
0:16:37	多分その、
0:16:39	補足説明資料に書いてあるんですね。
0:16:42	そういったものを入れ込むと。
0:16:44	かなり今回のキャスクっていうのはその中に入る。
0:16:50	だろうっていうのが、
0:16:52	今後、
0:16:53	添付の図をつけて、それに対して、多少の説明するだけで、
0:16:59	わかるのかなと思いますけど。
0:17:05	RFSむつの植野です。かしこまりました。
0:17:10	ちょっと検討して、はい。文章を修正いたします。以上です。いいですか。はい。規制庁田内です。よろしく申し上げます。
0:17:28	RFSむつの上野です。ちょっと引き続きもう1、もう1点、お願いいたします。
0:17:35	もう1点はですね津波時の線量評価のところの記載ぶりでございます、
0:17:43	いえ、
0:17:46	こちらの方ですね今画面に映っております。右側赤字のところにつきましては、
0:17:55	本日の審査会合のパワーポイントにも記載している部分になります。
0:18:05	そこからですね、通そ、その下線量評価、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:12	の話に入っていくんですけども、津波時のですね、
0:18:16	1 ページのエとし、下の方へいきますと、
0:18:23	遮へいの
0:18:24	津波時の遮へい機能の回復期間の記載がございます。cポツの貯蔵建屋はって始まる文章でございます。
0:18:35	こちらにつきましては右側の表現は、月岡の文章に戻している。
0:18:42	戻しております、
0:18:45	復旧期間は前者を3ヶ月、後者を1ヶ月という形にしております。
0:18:53	続きまして、
0:18:56	ミナミ、
0:18:57	次のページですね。
0:19:01	次のページの(2)のところで線量評価の結果というところですけども、こちらにつきましては、
0:19:10	今BWRソウノ中型キャスクタイプ2が一番線量評価上厳しくなっております、
0:19:18	こちらにつきましては、敷地境界外における公衆の実効線量は年間1mSv上回るが、
0:19:29	受け入れ状況の評価し、年間1mSvを超えないように、受入基数を制限する等の
0:19:37	運用とするという形で文書を結んでいるというような
0:19:44	ことで考えております。
0:19:48	ここはババ層的にはですねツジ間本版の下のページで申し上げますと、衛藤6-1-40ページ、
0:20:01	になります。
0:20:06	はい。まず私からは以上でございます。
0:20:28	規制庁マツモトちよっとお待ちください今確認しています。
0:23:07	私、規制庁のタナカです。
0:23:10	今、商売を示していただいているところの記載はこれでいいと思うんですけども、これを受けて、補足説明資料のほうの側で、
0:23:20	例えばそのMACCSのセンミョウだけど、何か7基で、1ミズタ守りますですとか、
0:23:27	例えば線量MACCSなくて線量が7掛けとか8億ぐらいのものが来たときには8基で大丈夫ですか、そういうちよっと例示等を入れてちゃんと管理することでこの1mmを満足しますと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:39	というような形で、パソコンの方は直していただければと思うんですけども、いかがでしょうか。
0:23:50	RFS物の植野でございます。
0:23:53	横井今野はい、ご指摘を踏まえまして、
0:23:57	適合性説明資料の方で、ちょっと表現を検討させていただきます。
0:24:02	以上です。
0:24:06	規制庁はです。よろしく申し上げます。
0:24:34	不安。
0:24:40	うん。
0:24:42	RフェーズのⅡ本社でしょ。ちょっと側を準備してるんで早々お待ちください。
0:25:09	こりやどこ。
0:25:11	はい、RFSむつ本社の古家でございます。
0:25:14	次はですね、田口さんからご指摘いただいた、遮へいの線量評価の値、最新のライブラリーの全くスリーブ具の
0:25:24	評価結果を、既許可のタイプ2Aと、中型のタイプ2、あとはPWキャスクと比べるようなそういう表現を入れて欲しいというお話をいただきました。それについて補正の案についてご説明いたします。
0:25:43	まず、文章としてはですね、
0:25:48	キャスクの
0:25:52	あそこの設計を示しているサンポ津さんのシリーズの中で、
0:25:59	両括弧2、遮へい等、
0:26:01	いう部分がございます。
0:26:04	ショバ中とPDFで17ページですけども、すいません。今側に移している部分ですが、
0:26:14	ここでは起業家のタイプ2について論じている部分になります。
0:26:20	その最後にですね、
0:26:23	商売に移しました通り、キクカワのタイプ2でも、ある特定の条件のもとでは、マット薬具の表現、結果が示されていると。
0:26:34	これによると云々かんぬんというところがございます。
0:26:37	なので、
0:26:39	この部分に、
0:26:42	今回追加するABWR中型のCHASTEタイプに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:47	あとはPWキャップタイプ1、これは赤字のように、組み込むことで、またこの断面積ライブラリマットXリブ具による線量評価率に対し、Bの中型CAPタイプに、
0:27:00	の値はキャスク表面でコウ、
0:27:03	表面から1メートルでコウ。
0:27:06	加えて、PWRキャップタイプ1、
0:27:08	の線量評価の結果はキャップ表面でコウ。
0:27:12	表面から1メートルの位置でコウと。
0:27:15	そういう結びにして、比べられるようにしたいと思っています。
0:27:19	最後の結びとして、このため、BWR用中型キャスクタイプ2が最も高い線量当量率であるということで、結論付けで説明を明確化したいと考えています。
0:27:31	説明は以上です。
0:27:39	規制庁マツモトですちょっとお待ちください今確認します。
0:31:49	私、規制庁の田中です。今の話ショウガンに示していただいたところで、このアグレックスDVに関する記載を追記したいところはこれで、
0:32:01	まあ、あの方でいいと思ってます。
0:32:03	ただ、一方でこの
0:32:06	以前のヒアリングの落としてますよね、第3.3点。
0:32:09	6票。
0:32:10	僕こちらにおいてもう
0:32:14	今、大分三重だけがこういう形になってると思うんですが、これに、
0:32:18	BWRのシバタのタイプにSPEEDI上のタイプ1加えていただいて、
0:32:27	ちょっと遮へいのところは、
0:32:29	ある。
0:32:31	2種類の評価結果が出るといいますんで、表中に工夫していただくか岩盤講演会の形で、一応ここでまとめて、
0:32:41	評価をしていただけるともちろん、
0:32:44	ここ、いろいろ津波評価とか、説明会で確認する際に見ても、非常に
0:32:50	思う。
0:32:51	わかりやすい。
0:32:52	表になると思うので、ちょっとそこの表の記載を工夫していただきたいと思うんですけれども、いかがでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:58	はい、RFSむつ本社キャスクの古屋です。今ご助言ありました通りサンポ 3-6 表、これ 4 基のすべての評価結果を示している図ですけれども、ここに行とか欄を設けて、
0:33:12	組み込むと。そこはなかなか座りがよくよろしくないの、今お話があった通り、ちょっと備考欄外を活用して、その辺わかるように表現を工夫したいと考えます。以上です。
0:33:26	金城タナカです。よろしくお願いします。
0:33:30	段階だと、何とか使えない。そう。
0:33:36	だから、いや、とらえないけど。うん。
0:33:40	津波で使えない。
0:33:45	規制庁種市ですけど。
0:33:48	今の津波評価の時に、
0:33:51	側面、
0:33:54	つまり燃料有効部の近く。
0:33:57	の線量を使うんではなくて、
0:34:01	蓋部とか、
0:34:03	そういう
0:34:05	そこから 1 メーターの一番高いところを使って線量評価してますよね。
0:34:12	そうすると、
0:34:14	どちらかというとその 2 段書きみたいにしとかないと、
0:34:20	何か座りが悪くなるような気がして、フクマー一番の懸念材料ですね。
0:34:28	はい、RFS鬱本社の古屋でございます。今ご指摘がございました通り、津波評価をちょっと考慮して、表面だけじゃなくて表面から 1 メーター、最大のところ、
0:34:39	これを、今ご助言ありました通り、2 段にするとか、ちょっとその辺気表現について検討したいと思います。ありがとうございました。以上です。
0:34:49	規制庁、田口です。よろしくお願いします。
0:35:16	築山さんの物本社のキョウラでございます。
0:35:19	当補正書で現在ちょっとご相談したかったのは以上となりますが、東京事務所の方もよろしいですか。
0:35:30	東京事務所渡部です。ちょっと確認をさせていただきたいことがあるんですけども先ほど植野GMのところの、
0:35:45	表 1.1. 1-4 表。
0:35:49	を削除するという理解でよろしいですね。
0:36:06	プルサン。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:07	共有できますか。
0:36:10	広野さんに説明したところなんですけど、古谷さん。
0:36:14	今とですね、
0:36:18	その表のところですよ。
0:36:24	次のページ。
0:36:25	それ、これじゃないじゃん。津波の津波のはいそれですよ。
0:36:32	これが10人。
0:36:53	あ、聞こえますか。
0:36:57	聞こえます。何か。
0:36:59	はい。それですねこの表の1-1-4表を削除することになりましたってというふうな理解をしましたので、
0:37:10	これ以降に続く繋がってる表の、
0:37:15	番号を振り直す必要がございます。それで、江藤番号の振り直すんですけども、
0:37:26	以前にですね、キャスクのタイプ2とタイプ2がAと書いてあったものについては、今回タイプ日系のものを、
0:37:36	比図に示すということになりましたので、この表の図番号が変わっただけで、
0:37:48	後ろのA棟、今回申請対象ではないんですけども、これを全部つける必要があるかどうかを確認したかったんです。
0:38:00	受けるのをいかがでしょうか。
0:38:10	北田。少々お待ちください。
0:38:36	お渡しました規制庁の田中です。
0:38:39	表の中にそのものが変わらないとしても、本文で引用する。
0:38:45	表の番号であったり、文章のタイトルが変わるということであれば、それは明確にさせていただきたいと思いますので捨てるの方は、
0:38:53	申請書にはつけていただくようにお願いします
0:38:58	ソーレでですね、もともとこの
0:39:03	11-4表2、タイプ2Aの
0:39:10	何て言ったら、既許可の、
0:39:14	評価結果が載っていたんですけども、
0:39:18	これを、
0:39:20	これもなくすという方向になってしまいますけれども、
0:39:25	それはよろしいんですか。
0:39:31	規制庁名まで少々お待ちください。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:42	規制庁のタグチですけど、
0:40:45	入口論なんですけど、管理をするしないっていうのがあって、
0:40:51	ですからまず、PWRの
0:40:55	線量を示していただいて、
0:40:57	管理しなくていいよければ、
0:41:01	BWRの大型と中型は、
0:41:05	結果を結び、
0:41:09	BWRの中方については管理をして賃金を超えないようにします。
0:41:14	ということですね。
0:41:17	それでもし足りないと思えば、例えばこういった管理をするので、1名を守ってますみたいな、
0:41:25	ことを追加しても、
0:41:28	それでどうでしょう。
0:41:30	申請書としての形ができ上がっちゃない。
0:42:04	すいませんえーとですね、この表 1.1-4 表については、この今の左側の表にプラスして、
0:42:17	Pキャスクのタイプ 1 の表を追加すると。
0:42:22	対中型のタイプAとBWR対中型のタイプ 2 については、
0:42:32	規制庁のためのいいでしょうか。もう一度言います。入口論で管理するかしないかでは分けますと、
0:42:41	で、
0:42:42	管理をする場合は、例えば、
0:42:46	Bも含めて管理しますとなれば、
0:42:48	1 ニシウラTでいいし、
0:42:52	FPは管理しないっていうな結果を、
0:42:55	入れていただいて、
0:42:57	1mSvになつては客観的に見えるよね。
0:43:01	はい。
0:43:24	東京事務所がわかりましたけども、
0:43:36	RFS物の植野でございます。
0:43:40	1、広い意味では、すべての安くタイプを含めて管理していくっていう、
0:43:49	衛藤。
0:43:50	考え方。
0:43:52	で、持っておりますので、
0:44:01	そういう意味で今すその中でも、一番線量評価の厳しい中の方、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:09	をちょっと対象として、批評評価をしまして、その結果、
0:44:15	1ミリを上回るんで、
0:44:19	聞く制限をする等の運用をしますっていう、流れで文章を書いてございます。
0:44:28	うん。
0:44:30	うん。ふうん。
0:44:32	そういう意味では
0:44:36	ちょっと個別に個別のタイプごとに表を載せるっていうよりかは、今、
0:44:44	等をお示ししてます。文章で、
0:44:49	運用しますっていうような形。
0:44:52	の文章で、
0:44:55	いいのではないかなと考えたんですけども、
0:44:59	一応こちらそのように理解をさせていただきます。
0:45:04	以上です。
0:46:02	すいませんむつ保護者の木村でございます。すいませんちょっと社内で少し混乱して申し訳なかったんですが、こちらのパートは基本的にはもう
0:46:15	学校区別せずに、全体の方針として、
0:46:19	管理運用していくという方針のもと、一番厳しい評価条件について評価したら、1mm超えてるんでと、それはこの超えないように運用するという作文で済ますということで、
0:46:32	ここに個別に例えばタイプ2とかPの、
0:46:37	数値は載せないということで、今画面で出してる通りの
0:46:43	案。
0:46:45	09でよろしい。
0:46:48	あと、
0:46:49	と考え、
0:46:51	以上です。
0:46:53	はい。東京側も理解しました。
0:46:56	その上でなんですけども、次なんですけど、この先ほど表の中の、ちょっと、
0:47:10	規制庁田中です。
0:47:14	ここの先ほど申し上げ、添付のこの文書の機会は今こういうふうに一 本化するっていうことであれば、先ほどもちょっとお話ししたけど、
0:47:25	適合でやっぱ説明資料の方では、そうすると、一応カノウタイプ2、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:31	NO評価結果ですとか、今回の
0:47:36	BWRキャップタイプの結果ではPRAの結果って、それぞれの方示した上で、
0:47:45	評価モデルは多分線量評価を併用しないで管理できるかが、する。また、Bのキャップはちょっとどういう経過なのかわかりませんが、こちらの方はして評価を提案しなくていいという結果になるのであれば、それで評価を、
0:48:00	BWR千葉タイプキャップのときは、
0:48:03	ここへ可能性あるんで、
0:48:06	線量は併用しますっていう、そんな書き方をされるとかそういう期待っていうことなんでしょう。
0:48:12	それとも、もう
0:48:16	BWR中型以下 100 あるから、すべからくどんな脚下来ようとも必ず毎回、
0:48:23	基数プラス線量評価を併用しておりますっていうふうに思います。そちらになる。
0:48:56	規制庁田口です。聞こえてますか。
0:49:01	RFSむつの植野です申し訳ございません聞こえております。
0:49:06	適合性説明資料の中では、
0:49:11	いつ、
0:49:13	そうですね一番、
0:49:16	厳しい。
0:49:22	中型キャスト一具。
0:49:25	以外のものですね実態としましてはPWRキャスクと、
0:49:33	タイプ2の方は、
0:49:35	衛藤。
0:49:36	基数制限しなくて、
0:49:39	もう収まるっていうような形にはなっております。なので違った、反対に申し上げますと中型、
0:49:49	キャスクの方につきましては、
0:49:51	ずっと基数制限が必要っていう、
0:49:55	うん。
0:49:56	ような形がございますので、
0:50:01	ちょっとそこも踏まえましてちょっと適合性説明資料の中で、
0:50:07	主で表現していこうと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:12	衛藤。
0:50:13	すいません、ちょっとソウノ佐口ですけど、ちょっともう一度考えていただきたいんですけど。
0:50:21	安全評価っていうのは必ず数値でもって示して大丈夫とか言ってますよね。
0:50:28	これまで発電所含めて、
0:50:31	なので、
0:50:32	例えば一つは、
0:50:34	計算結果を出してこの表に入れちゃうと、
0:50:40	正しい
0:50:44	Bの中方については
0:50:46	年間珍獣超えないような、
0:50:51	方策を
0:50:53	とりますと、
0:50:55	ですからいろんな方策があると思うんですが、例えば、
0:51:00	基数制限とか、そういったもので、
0:51:05	守りますっていうふうに、そういうふうにしたら、
0:51:08	非常にこう客観性があるっていいかなと思いますけど。
0:51:13	ちょっと個人的な見解なんです。
0:51:40	RFSむつの植野でございます。ちょっと今社内で議論しますので少々お待ちください。
0:52:30	アレスむつの植野でございます。
0:52:33	衛藤。
0:52:34	まず一つ考えられるのは、ここの添付 6 類の表、非小章を、
0:52:44	作ってですね、今削除してる表。
0:52:49	に、
0:52:51	今ここでBWR用の中型キャスクのタイプ 2 でいうと 8 基でやった評価。
0:52:59	の結果を載せて、
0:53:01	それがアノ 1 を超えるんですけども、
0:53:05	その超えるっていう結果を載せた上で、
0:53:09	今書いている文章、経歴数を制限する等の、
0:53:15	運用をするっていう、
0:53:18	まずそういう表現にするっていうこともちゃんとできるかなと考えておりますので、
0:53:25	あと、その 1 を超えるっていう表を載せたらどうかなっていうふうに、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:31	ちょっと考えました。以上です。
0:53:38	はい。規制庁田内です。それでいいと思います。
0:53:43	その辺の、
0:53:44	帰趨水源だけではないと考えてますので、頭入れるなり、
0:53:51	した方がいいのかなと思うんですね。はい。
0:53:59	安全部。
0:54:00	規制庁の田仲です。下のための確認ですけども、この 1.1. 4 表っていうの中には、
0:54:07	既許可の際にの評価結果内に横尾稲井っていう結果と、
0:54:13	あと、このPWRの今回そうですか生活キャップも一部超えない結果と、
0:54:20	あと今この
0:54:22	出てる、この道を超えるという三つのデータを示していただいた上で、この超えてしまう。
0:54:30	コンビル中学CAPについては、
0:54:32	まず、
0:54:33	別途営業管理しますっていうそういうふうにつなげると理解してそれよろしいでしょうか。
0:54:42	RFSむつの植野でございます。今前段の文章の方がですね、
0:54:52	一番線量評価の厳しいBWR用の中型キャスクタイプ 2 で、
0:55:00	土肥評価をするっていう流れになってまして、
0:55:04	その一番厳しい、中型キャスクで評価をした結果、1mSv上回るんで、
0:55:12	基数制限する等の運用をしますっていう。
0:55:16	文章にしております。
0:55:19	で、
0:55:22	イマイ今のお話ですと最後、3 タイプの数字を載せるっていうお話でしたけれども、
0:55:33	す。
0:55:35	そういう意味では、
0:55:39	どうですか相馬さんタイプ、T野瀬で少し前の方の文章を直すか、
0:55:47	一番厳しい、途中型キャスクタイプ 2 の話をして、
0:55:53	それが 1 を超えるんで、収まるようにしますっていう。
0:55:59	そういう文書の流れにするかっていうところは考えられます。
0:56:07	規制庁の田仲です。今の文章のままで、ちょっと若干懸念されるのが、すべからく、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:12	どのタイプに安くても大きく制限と線量評価をして1億円を管理しますって言えば、ふやすことになってしまうんじゃないかな。
0:56:21	どう思ってます。
0:56:23	でも、もし阿吽タイプの結果を、
0:56:27	併記して、タイプ2とかPのギャップについてはないって現状でいけばそちらについては多分、最大は、
0:56:37	伴有吉ナカ結果でわからない。
0:56:41	マツノより実務上、
0:56:43	管理しやすいのかなあと思ったんです。
0:56:47	あとはそのアベとドイの運用を考え、
0:56:50	そちらのところでどう選ばれるか。
0:56:54	阿部さん1人です。
0:57:01	こちらの懸念事項。
0:57:04	ご理解していただけるでしょうか。
0:57:13	RFSむつの植野です。少々お待ちください。
0:57:57	あ、むつの植野でございます。すいません。衛藤。
0:58:01	今のご指摘も踏まえまして、ちょっと線量評価の結果のところに、まずBWRの中型キャスクタイプ2は、1mSvを上回るという。その他の
0:58:16	大型キャスクAタイプ2Aと、PWRキャスクは、
0:58:21	1mSvA以下におさまるっていうことを書きまして、その上で、批評を、
0:58:30	表に数字を載せるっていう形。
0:58:33	にしたいと思いますが、
0:58:35	それでいかがでしょうか。
0:58:46	超えた。
0:59:24	すいません。規制庁田仲です。
0:59:27	今大屋さん説明した内容で、2ではないかと。
0:59:31	思いますんで、細かな記載でいうと、ちょっとご検討いただければ。
0:59:39	ある泉つの植野です。了解いたしました。ありがとうございます。
0:59:56	ほいであれ、3の方から、
1:00:00	確認した事項ってというのは、
1:00:03	以上でよろしいでしょう。
1:00:10	あるアノRFS物本社キムラでございます。そうですね今日、ご相談したかったことは以上だったと。
1:00:19	はい。
1:00:25	規制庁、棚橋それでしたら、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:27	それでちょっと
1:00:30	前回のヒアリング以降ですね、我々いろいろ資料を精査した中で幾つか、
1:00:36	それしなきゃいけないなと思っている事項がありますので、
1:00:40	そちらについて、
1:00:43	お伝えしたいと思います。
1:00:46	まずですね
1:00:49	添付書類 3 の技術的能力の部分なんですけども、今回、基本的には人事異動等、
1:00:56	エンドウぐらいしかない。
1:00:57	いう。
1:00:59	ことだと思うんですけども、
1:01:01	今回新たにキャップを追加する古藤。
1:01:07	追加をしたとしてもですねこのキャスティングケース 15 に関する問い合わせの変更がない。
1:01:12	ということのご説明で前回の審査会合で、お話があったかと。
1:01:19	もうアノす。
1:01:20	そういうようなことから、今、技術的能力については、基本的にはそういう、
1:01:25	コウはないんだよ。
1:01:26	いうことを、
1:01:28	この変更の理由というか添付書類 3IV化するところの、
1:01:37	変更理由になってきていることができないかなあと考えているんですけども、
1:01:43	具体的には
1:01:44	別府鳥居さんの一番冒頭に書いていただくか、添付書類のところの添付書類 3 のところを書いていただけないかなという。
1:01:54	あまりちょっと読みにくいかもしれないんですけども、
1:01:57	そういう機会はちょっと検討したことは可能でしょうか。
1:02:06	はいRFSむつ風車でございます。添付書類 3 に、
1:02:13	何だか変わらないっていうことを、理由を、
1:02:17	記載するというので、ちょっと検討したいと思います。
1:02:22	規制庁、田中、よろしく願います。
1:02:25	10 月のときの会合資料に書かれてる、もう基本近いものがどっかになればいいなという。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:32	よろしくお願いいたします。
1:02:44	規制庁の田口ですけど。
1:02:48	ちょっと適合性説明資料でいろいろ赤が入ってますんで、
1:02:54	見にいかないと。
1:02:56	ということで、ちょっと質問したいんですけど、ちょっとその前にですね、
1:03:02	以前いただいた、
1:03:04	燃料と、あと、
1:03:07	解析条件、
1:03:09	この比較表。
1:03:10	があるんですけど、
1:03:12	これ
1:03:13	以前許可ベースです。
1:03:17	てもらったんですね。
1:03:19	今回はその、
1:03:21	型式証明とか、
1:03:24	の、
1:03:25	数字でまとめていただきたいなと思う。
1:03:28	で、
1:03:31	作っていただいた資料は非常に重要な書類ですが、
1:03:36	雪子二段階
1:03:38	数値が入っちゃって、
1:03:41	ちょっとこう、今回の許可で使えない。
1:03:44	もので、ちょっと字修正をお願いしたいというのが1点。
1:03:49	これについてはいかがでしょう。
1:03:53	それからもう一つはですね、
1:03:56	型式証明から変更したようなところは、赤字にさせていただきたいんですね。
1:04:03	というところ。はい。
1:04:13	すいません衛藤東京事務所牧内です。
1:04:17	今呉須Aをいただきました部分で、設工認の値が入っているということで、
1:04:28	コメントいただけてますけどそれはですから3ページ目の評価条件の部分というところでしょうか。
1:04:39	多分ね、できない。これ、生涯教育ですね
1:04:44	例えば臨界ですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:46	写生とか、
1:04:48	どちらかというと、
1:04:51	約何%かそういった訳何メーターか。
1:04:56	どちらかというところの許可がそう書いてあるんですね、型式証明も。
1:05:01	かなり不そちらにコウ。
1:05:04	と合わせてある。
1:05:06	ところが輸送とか型式指定だと。
1:05:09	ちょっと細かすぎて、実際の
1:05:13	我々が
1:05:15	解析条件行った時に、
1:05:17	何かこう、
1:05:18	うまくここ使えない資料。
1:05:22	というところで、
1:05:23	今のは、重要な資料としていただいたけど、
1:05:29	それ以外にこの許可の範囲の認証という観点で、
1:05:34	ちょっと未修正いただけないかな。
1:05:36	はい。
1:05:40	富山木内です。ご指摘では今実際に評価で使われてる細かい数字が載っているんですけども、
1:05:49	この値の集合体を使用しようという資料は過去に提出させていただいてその時約何%とかそのような表現でいろいろ書かせていただいたんですけども、
1:06:01	今、使用してる細かい数値っていうのを、前回ご提出タケノ資料ベースぐらいの、記載の荒瀬というような我々の事業許可の断面での、
1:06:12	値、そちらに変えるという趣旨と理解しましたがよろしいでしょうか。
1:06:19	内野タグチ、そのように、昔の平成 27 年ですね。
1:06:25	これらの資料の作り方に合わせていただければと思います
1:06:31	東京事業所の上地です。承知しました。1 点だけ、質問なんですけれども、先ほどハダ式とかと違う場所は赤でということに組めていただいたと思うんですけども、
1:06:45	例えば薬とかにしますと、四捨五入とかの関係で大井と同じ値を使っても何ですかね表現の中に入ってしまうようなものもあるのかなと思うんですけども、そのどの程度功を変わったものについては赤字、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:00	あれすかね評価条件がそもそも違うようなものについては赤字で、この丸め方といいますか許可断面での見せ方で、2の範囲での違いというところは特に赤字にしないと、そのような方針でよろしいでしょうか。
1:07:14	規制庁の田口です。
1:07:17	ちょっとでも違えば赤でいいですか。ただ、その数は非常に少ないので、私営申請書型式の清水塩見に行きます。
1:07:27	承知いたしましたであれば例えば数値が細かく載っているところを役にしたとかそういうところも赤字で記載するという事で理解いたしました。ありがとうございます。
1:07:40	あ、えっと、次にですねアノで機能性、
1:07:44	もうその資料なんですけどちょっと順番にいきます。
1:07:49	まずですね、
1:07:51	型式証明からの変更で、
1:07:55	例の輻射率が、
1:07:58	0.8 ちいの。
1:08:00	キャスクの体積があるんですけどこれを 0.11、
1:08:05	にしたときに、
1:08:07	どの程度の違いというか、
1:08:11	そういったものを何か、
1:08:13	こちらでもわからないから
1:08:17	つまり、
1:08:18	型式指定の結果を見てください。
1:08:22	言うのか。
1:08:25	福間常務はこれぐらい影響あるけど、
1:08:28	相対的にはそんなに影響ないって。
1:08:31	考えていいか、その辺がコウ。
1:08:34	何かわかる。
1:08:35	説明っていいですかね。
1:08:37	そういうのがあると。
1:08:39	審査が可能なんですけど 1 回、
1:08:54	RAS 本社ですが今ちょっとちょっと準備しておりますので、少しお待ちください。
1:09:05	ザイゼンササキでございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:09	輻射率の 0.11 につきましてでございますけれども、いろいろ調査してみますと、もう型式証明書を申請した段階で、すでに実は負担分についても、
1:09:22	輻射率としては 0.11 を想定していた。
1:09:26	いう事実を確認できました。以上でございます。
1:09:30	規制庁内です。そうすると、型式証明通りの
1:09:36	結果であるということ、
1:09:41	よってね。
1:09:43	記載。
1:09:46	変える。
1:09:50	座敷証明ローリーであるし、しかしながら、
1:09:56	記載の一部、
1:09:58	追加をして考える人、そんなことですかね。
1:10:06	そうですね型式証明の時点でも、二つはコンマ 11 でございましたウエキ処理された設計でございます。
1:10:14	ただ、一方で、相型式証明書にはそこは記載してございませんでしたけれども、型式指定の段階で明確、
1:10:25	していると。
1:10:26	いう状況ではござい
1:10:28	ます。我々型式証明の審査で、
1:10:33	一律レターでもって買い付けしたということで認識してるので、
1:10:40	実は
1:10:42	そこはもう、
1:10:43	0.11 が入ってます。
1:10:45	いうことであれば、
1:10:48	どうなんだな、型式証明において、ちょっと記載の漏れが、
1:10:55	いう形で考えて結果同じ。
1:10:58	そんなことでよろしいですかね。
1:11:03	あれスムーズ本社のタカハシでございますが
1:11:08	T守れと言いましょかですね表現上
1:11:11	型式証明申請書のその何といたしましょか、キャスクの表面ですとかいろいろ寸法ですとか物性値ですとか、説明しているくだりがあると思えますが、
1:11:23	そちらについて代表的な数値を載せていると。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:29	いろいろな寸法です。も含めてですね、必ずしもすべての何ていうんでしょうか。数字を野瀬る必要もなかろうという場面もあるかと思ひまして、おそらく
1:11:41	そこについては代表として 0.868 と。
1:11:45	側面によって代表的に出たやつと記載していたというふうには我々は理解しておりました。ちょっとお待ちください。
1:11:52	はい。
1:13:42	規制庁田口です。ちょっとこれはですね、今この場で判断できないんで、
1:13:49	こちらもまた、
1:13:53	相談。
1:13:54	しますので、今日は回答はできないということでお願いします。
1:14:03	RFS呉本社タカハシでございます。
1:14:07	はい。承知いたしました。何か我々の方ですね、ご提示が必要な情報ですとか、ございましたらまたご指導いただければと思います。はい。
1:14:18	あとこの件につきましては、補足説明資料ですね型式証明から違うところについて整理する資料においても、我々別紙を用意して、
1:14:30	今までご説明した内容を表現した資料を付けることは準備は進めております。はい。
1:14:37	以上です。
1:14:39	はい。規制庁の田口です。続きまして、受け入れ施設数。
1:14:47	です。
1:14:54	刑事施設の中で、衝撃吸収材の調達っていうのは、
1:15:00	あって、
1:15:01	これ型式証明でやってますけど、
1:15:05	どれぐらい、基本、何て言うんですかね、衝撃吸収材の性能がわからないまま計算をしたと。
1:15:15	そういう
1:15:17	ことなんです。
1:15:18	収益資材の持ち物RFSなので、そこで初めて、
1:15:23	その性能がわかるので、
1:15:26	今回の評価を、
1:15:29	例えば再評価したのか。
1:15:31	そういうのが全く同じなので、
1:15:35	型式証明が使えるか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:38	という判断が必要。
1:15:43	そうすると、
1:15:46	今結果としては 40g以下の数字になるのはわかる。
1:15:53	ですからあとは
1:15:56	整理の仕方ですね。
1:15:58	型式証明通りであるとするのか。
1:16:01	新たに解析した結果同じ結果になった。
1:16:06	いずれなんでしょう。
1:16:15	アベ数本社でございますちょっと再確認したいので少しだけお待ちください すいません。じゃあ、次の質問に行きます。
1:16:25	え。
1:16:27	うん。
1:16:28	規制庁の田口です。今度は航空機、小久保。
1:16:35	青田。今回もそうです。
1:16:38	さっきの規制庁の田仲です。その校風開く確率に関して幾つか確認したい 事項がございます。
1:16:47	まず添付 6 の第 1.11 表でカテゴリー別の広告の企画率っていうものを 示していただいています、そのうち
1:16:58	2ヶ所の方については赤字ですっていう、
1:17:01	いうのがウエダセトアノ 2.2. 4、飛来物の評価この全部×したものがこの 5.3910 マエダ 12 本かになりました。
1:17:12	あるんですけども、先ほどの 1.1. 11 を合算すると、5.3 にはならない んですけども、
1:17:19	こちらについて
1:17:21	なぜ、
1:17:23	データを全部見直さないのかというところがよくわからないので、
1:17:27	こちらについては今の考え方を
1:17:31	テンプの方にも示していただきたい。あとその適合性評価資料の方にお いても、どのあたりを使うっていうところをちょっと、
1:17:41	なかなかわかりにくい部分もあると思いますんで、そちらのところは明確 にさせていただきたいんですけども、いかがでしょうか。
1:17:50	RFSむつ、本社のオカモトです。コメントありがとうございます。
1:17:57	11 条、航空機落下の別添 2-5 にあります航空機落下の確率について は、最新の技術ノートに基づいて、最新の航空機落下のデータで航空 機の

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:08	落下確率を求めております。一方で、先ほどありました表 1-1-11 に つきましては、
1:18:17	すでに評価しております既存の評価結果に用いる航空機確率と、今回 新たに
1:18:28	算出しました最新の技術ノートの高い方の衛藤クラタの方で評価を行っ ております。ちょっとお待ちください、資料をお持ち
1:18:38	平日、
1:18:41	が、安心ですね。
1:18:47	1000、
1:18:53	そうですね、こちらの方につきましては、この米印 4 でありましてありま す通り、企業家で用いました航空機落下事故に関するデータの整備と、 今回新たに新しくデータ整備をいたしました技術納付の
1:19:08	航空機落下事故に関するデータ、平成 13 から令和 2 年のデータに基 づき算出した航空機確率抜き、大きい方を提示しておりますので、先ほ どの 5 計算とは違うというふうになっております。
1:19:21	なおこの大きい方の数字を使うということに関しましては、前の、11 条 -13 のページのところにも、二つのデータのうち、大きいほうを示してい るということで、ご説明、記載の方させていただいております。以上で す。
1:19:36	規制庁檀です。ご説明ありがとうございます。結構ぜひおかしいような 方ではそこがわかるんですけども。
1:19:43	元の添付 6 の方に表においては、そういう考え方は、現状の地域では わかりませんので、
1:19:51	その後、
1:19:52	よ、要は保守的な考えで、書いてないということがわかるような、そう いう追求をしていただきたいと思うんですけど、いかがでしょうか。
1:20:00	RFSむつの岡元です。添付資料 6 の申請書につきましても、先ほどの ような、
1:20:07	先ほどのような表がございますので、その中で、先ほどの表にありまし たような記載を追加させていただきたいと思います。以上です。
1:20:17	フジノタナカです。よろしくお願いいたします。
1:20:20	タカノ合わせてそれは今 29 の、適合性評価資料の方において、
1:20:27	数値がいろいろと変えてるので、本文中の
1:20:33	エンドウの違うデータを使ってるですとか、そういう大きい方はわかるん ですけども、それに加えて、飛行機仕事に対してその集約すると。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:43	わかるような形で表のインプットとなるものの、
1:20:49	どのタイプのものが何名、何か言っていないというのが、ちょっとなかなか追いきにくい部分がございますので、補足説明資料で結構ですので、そちらの 29 表の内訳となるような、
1:21:01	これについては、
1:21:08	試供式を使えば
1:21:10	それは同じ状態にしていくためのほっとこう。
1:21:15	費用。
1:21:16	用意していただきたいんですけども、よろしいでしょうか。
1:21:19	はい。RFSむつの岡村でございます。表 29 にあります確率値これをごのように算出したかのことに関しまして、補足説明資料で、わかるように、
1:21:30	資料を整備したいと思えます。以上です。
1:21:34	よろしく申し上げます。あと当該方のコウムラ確率に関して、
1:21:41	言えば、この資料中で一部、
1:21:45	使用する。
1:21:46	データのがんには特定規模、発生していて違うものを使っていたと伺っておりますので、しっかり精査した上で動きのないような修正をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。
1:21:58	はい、RFSむつの方で承知いたしました。
1:22:04	規制庁の田口です。
1:22:09	今、河西委員。
1:22:11	わかりますね。ちょっとその前に航空機落下確率についてですね。
1:22:17	あと、
1:22:18	何年から何年も出る。
1:22:21	要は、
1:22:23	ベッショ
1:22:25	なんかな。
1:22:27	それあの子、雁葛西駒田です。
1:22:31	国気楽さ区立の補足説明資料も、
1:22:35	何年から何年までのデータ。
1:22:38	かわからないと。
1:22:39	それを明記してくださいっていうと、
1:22:43	大型査定とかね、そういったものが、
1:22:49	何件であるかっていう内訳も、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:53	うん。
1:22:54	示して欲しいので、
1:22:58	説明資料に追記してもらおうと。
1:23:01	非常にわかりやすいかなと。
1:23:04	以上です。
1:23:08	規制庁のタグチ、具体的にはですね、11 条、
1:23:14	アオキだったら、別添 2 の 3 ページ。
1:23:19	の表ですね。
1:23:53	はい。規制庁多田です。ここに人材、米軍機、これの内訳が、
1:24:00	回数としてわかると、この表が行ってきますので、
1:24:05	その数我々少し今知りたいという、
1:24:09	ことなので、またつい追記とか、お願いします。
1:24:13	RFSのオカモトです承知いたしました。
1:24:19	次計測制御系の設備なんですけどちょっとこれ、細かいんでどうします。
1:24:30	単純に言えばですね、
1:24:33	今度補正で閉じ込め名が出てきます。
1:24:36	その数字をもってこの設定値の、
1:24:39	確認をしていくわけなんですけど。
1:24:42	ここは、
1:24:45	例えば吸気温度が変わったんで、
1:24:48	それがその 2、吸排気温度 3010°Cに、
1:24:54	影響あるのかと。
1:24:56	それから
1:24:59	うん。
1:25:03	例えばその圧力下限値っていうのは、型式証明ではどこに規定されてるかとかいった確認をしていきたいので、またこれ補正。
1:25:13	ここに、
1:25:14	確認したいと思います。ということで今回これぐらいで、
1:25:18	どうでしょうか。
1:25:23	RAS本社の高橋でございます。衛藤。
1:25:28	計測制御系統設備特に今話題に伊井さん、していただいたのが蓋活力の監視に関しての、
1:25:36	救急温度の今回の変更ですとか、
1:25:41	その辺の影響について、何。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:44	ここは何かご質問、
1:25:46	されたいということがあって、それについては補正申請後に改めて場を
1:25:54	設けたいと、いうふうなお話と理解させていただきましたが、現時点で何かとても大事なことで、しっかりと何かこういう準備をしておくべきですよとか、何かそういうご示唆があるようですから、
1:26:09	新たに伺っておきたいかなと思うんですが。
1:26:12	衛藤。
1:26:14	それも含めて補正後ということで理解させていただくことでしょうか。
1:26:19	はい。規制庁田口です。
1:26:22	今んところ列記していきますけれど、
1:26:26	例えば別添 2-1 図、
1:26:30	ちょっと書きとっていただければいいと思うんですけど、
1:26:35	真木オカベの簡略部っていうのは、
1:26:38	あって、
1:26:40	それは間違いですかと。
1:26:42	変更理由は何ですか。
1:26:44	ていうところ。
1:26:46	次はさっき、今、
1:26:49	話したように、29.5 から 29.8 に変更した。
1:26:55	後排気温度差 10 同士が、
1:26:59	変更あるのか。
1:27:02	それから、
1:27:03	警報設定値の設定根拠である。
1:27:08	圧力変動を考慮したあたりが、
1:27:11	フクイによらず同じ値か。
1:27:15	最重点回数の設定根拠、設定の考え方に変更はないか。
1:27:22	もうこれ取り込みの話。
1:27:25	で、
1:27:26	二つの温度変化、
1:27:29	不確かさを考慮したという変更する、は何か。
1:27:34	設定の考え方は、
1:27:37	次がですね。
1:27:39	圧力下限値の 0.210. 9MPaが、
1:27:46	表面ではどこで、
1:27:48	規定されて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:49	添付の 2-1 表、
1:27:53	A評価からの変更理由、今回の
1:27:57	Fの設定の考え方。
1:28:00	うん。これを
1:28:01	ちょっと確認したいと。
1:28:04	だから、
1:28:06	今、
1:28:07	カミデコウ痛だ一ければ、あらかじめ
1:28:11	汚染前に確認できないし、
1:28:14	今、説明で、こういう考え方だと伺ってますミイにする方法もあると思います。
1:28:24	今日はこういう、
1:28:26	質問を、
1:28:28	したということだけでいいかなと思う。
1:28:31	院長。
1:28:33	はい。あるベース。本社タカハシでございます大変ありがとうございます私の方である程度のところメモさせていただいておりますし、7点ほどだったかと思しますので、その回答の仕方、今ご示唆いただいたように補正前の段階で、
1:28:49	5月までの会合の資料としてまとめるか、もしくはヒアリングさせていただくをしていただいた断面で、ご議論させていただいてその結果を、何か
1:29:01	結果の時点で資料化すると、いうやり方も含めてちょっと我々の中でも、検討させていただきながら進めたいと思いますまだ今日ご質問として承りましたので、
1:29:11	引き続きよろしく申し上げます。はい。規制庁さん。
1:29:15	やっぱり
1:29:18	悪しき正面のキャストを取り入れるだけであまり変更ないということ。
1:29:22	だったんですけど、
1:29:25	かなり細かなところで変更が出てきている。
1:29:28	いて、
1:29:29	ある程度審査をしないといけなくなってしまうので、こういう質問が、
1:29:38	だということは理解いただきたい。
1:29:41	以上、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:46	アセス、本社の高でございます承知いたしました。ありがとうございます。はい。以上です。
1:29:55	規制庁伊藤です。今後の進め方についてちょっとご質問なんですけれども、今後のスケジュールということで補正申請とですね等、
1:30:05	本日の補足説明資料ですねどれぐらいの時期に提出できるかというのを教えていただきたいんですけども。
1:30:14	はい。RFSむつ本社のキヨウラでございます。えっとですね私ども、当初、
1:30:21	今週の金曜日、17日に申請ということで、
1:30:28	ちょっと準備をさせていただいてたんですが、本日もちょっと申請書の書き方等、
1:30:35	いろいろアドバイスいただいたこともありまして、
1:30:38	相馬他の見直し作業が出ますので、
1:30:43	ちょっと今週中と思ってた当初目標が少し厳しいかなと思っております。
1:30:52	いつなんだというのはちょっと今、ソフトウはできないんですが、
1:30:58	図
1:31:01	まずわあ、
1:31:03	あれです。高橋でございますがちょっとだけすみません。
1:31:07	社内でちょっとだけ議論したいので少しだけお待ちください。
1:31:17	はい。
1:31:19	物本社のキムラでございますが、まだ全員と相談できてるわけではありませんが、
1:31:25	例えば、今月末、
1:31:29	オカですと、逆に規制庁さんのナカノ、
1:31:34	手続きですとかそういったことは、
1:31:37	どういうことになりますでしょうか。
1:31:50	規制庁伊藤です。ちょっとそれについてもこちらで即答できないのそうです。ちょっと持ち帰って検討させていただきます。
1:31:57	あと規制庁タグチフナダマツモトが席離れてるので、ちょっと即答できないと。
1:32:07	そうしましたら、私どももちょっと今はまず、ちょうど月末だと申しましたが、少し私どもの方も、ちょっと社内相談をしたいと思えます。以上です。
1:32:25	規制庁伊藤です。
1:32:27	それじゃ、補足説明資料の方は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:31	同じく月末ということよろしいでしょうか。
1:32:37	小掠実がかかって、
1:32:40	まず本社のキムラでございます。はいそうですね同じで、まずは考えていただければと思います。
1:32:50	規制庁井田です。了解しました。
1:32:53	それでは、他に何かありますでしょうか。
1:32:56	RFSのを、本社のタカハシですがよろしいでしょうか。
1:33:01	はいどうぞ。
1:33:02	ありがとうございます。先ほど田口さんの方からいただきました受け入れ施設に関する、床置き緩衝材への転倒評価につきましては、今の障害の方で、
1:33:16	これ適合性説明資料が16条使用済み燃料の受け入れ施設という、その16条に対するということで説明資料の、これ36ページものですが、こちらの35ページ目、
1:33:28	ですね。
1:33:30	最後から2ページ目に、
1:33:34	イセ、結局大型キャスクと今回の中型キャスク、またPWRキャスクさん、三つの形についての
1:33:44	評価条件ですとか、36ページにはですね、評価結果として、発生する衝撃加速度ですとか、管理深さについてまとめております。
1:33:55	今回我々、型式証明で、この転倒評価についてされていること、評価されていることも確認した上で、我々の施設に合わせて、
1:34:06	詳細な条件をですね、設定した上で、転倒評価の方させていただきまして、結果の方載せていると、ちょっとこういうのが我々の
1:34:17	現状なんです、これに対して何か、すいません
1:34:22	確認、
1:34:23	したいことがあるということでしたでしょうか。
1:34:27	規制庁、田口です。そうですね、型式証明で検討してるけど、まず、再評価をしたということ。そうですね。よろしいですね。
1:34:37	そうですね。はい。さらに、その評価の入力になってる。例えば、
1:34:43	ヤング率に当たるような、そういう係数の変更があつて再評価をした。
1:34:50	江藤ユキ緩衝材は、既設と同等ですので、そちらについては特に変更ございません。評価方法につきましても、既許可でやらさせていただいた評価方法をそのまま使っていると、客条件を変えたということ。
1:35:04	そうです。はい。もっと言うと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:08	型式証明では、RFSの性能を用いて評価したつもりだったんですけど、
1:35:16	加来さんみたいな、ヤマグチみたいな。
1:35:20	ところで、変更が生じてして、
1:35:24	再解析が必要になる。
1:35:28	RAS本社のタカハンでございますがヤング率を含めてですねもし差し支えなければ、これ本日もですねこちらについての説明を求めています。求められたということで、ちょっと我々の中でも確認して、例えば、
1:35:45	型式証明時点の設定条件と申請、我々の変更申請時点での設定条件の差異がわかるようなコメント回答資料でも、補足説明資料でも簡単なものでもご用意させていただいて、
1:35:58	準備して見ていただけるようにする方が確実かなと思うんですが、そのようなことでいかがでしょうか。
1:36:05	はい。入力条件だけ確認できればいいですか。わかりました。はい。
1:36:11	ご質問のごイトウも、ちょっとわかったので、ちょっと急ぎ準備させていただくようにしたいと思います。はい。規制庁関係、よろしく申し上げます。はい。
1:36:20	受け入れ施設に関してはこの意見だったという理解ですが、よろしかったでしょうか。
1:36:25	そうですね今何ていいですかね。
1:36:28	型式では見れないところについて、
1:36:32	耐震性が必要で、そこは
1:36:35	型式証明の想定したものと同じか違うか。
1:36:40	はい。吉田アカシないかっていう、今してたっていう。
1:36:45	ありがとうございました。はい。
1:36:47	確認でした以上です。
1:36:53	規制庁からは、以上となります。アベがあるか、何かありますでしょうか。
1:37:03	RFSからも、ドイ上で大丈夫です。
1:37:08	規制庁伊藤です。それでは本日のヒアリングは、これで終了したいと思います。ありがとうございました。
1:37:14	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。